

気仙沼市の移住・定住支援制度（1/3）

検討

移住

移住相談窓口

気仙沼市移住・定住支援センターMINATO

お試し移住や空き家情報など、移住・定住の相談窓口



お試し移住制度等

お試し移住

現地での暮らしを体験できるプログラムや宿泊費の補助等を実施

- ・ 宿泊施設活用型（3泊以上2週間以内）
宿泊費・レンタカー代補助：1人あたり6,500円/日
- ・ 公営住宅活用型（2週間以上2ヶ月以内）
賃料：15,000円～/月
- ・ 保育所体験付「親子おためし暮らし」（1週間以上2ヶ月以内）
賃料（公営住宅）：15,000円～/月
保育料：10,000円/週



ふるさとワーキングホリデー

働いて収入を得ながら地域との交流や学びの場などを通じて、地域の暮らしを体験

- ・ 期間：概ね1週間以上1ヶ月以内
- ・ 補助上限額：宿泊費 5,000円/日

（※¹）住民票を移す直前10年間のうち通算5年以上かつ直近連続して1年以上、東京23区内に在住、または東京圏に在住し23区内に通勤していた方（東京23区内の大学等に通学し、23区内の企業へ就職した場合、通学期間も加算）。

（※²）本市に転入前の時点で、「本市が実施するお試し移住又はふるさとワーキングホリデー事業に参加経験がある方」、「本市が参加する事業（移住・定住関連）の相談ブース又は市移住・定住支援センター窓口（オンライン含む）で移住相談をした方」、「R4.1.1以降に本市にふるさと納税をした方」、「過去に気仙沼市内に居住したことがある方」、又は「気仙沼ファンクラブの会員になっている方」。かつ、申請時点で、本市で農林水産業や家業等に就業している方、又は本市で起業している方。

（※³）空き家を「売りたい・貸したい」方と「買いたい・借りたい」方をマッチングさせるため、空き家の物件情報等の登録制度を整備。WEBサイトに物件情報を掲載し、移住者等の住まいの確保に活用。

移住サポート

地方創生移住支援事業

【移住支援事業】

東京23区内に在住、又は東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）のうち条件不利地域以外の地域に在住し東京23区内へ通勤する方（※¹）が本市に移住し、一定の要件を満たす場合に支援金を交付

< 移住支援事業の主な要件（いずれかに該当） >

- ・ 「みやぎ移住・交流ガイド」に掲載されている対象求人就業した方
- ・ 気仙沼市を生活拠点とし、テレワークにより移住元での業務を継続して行う方
- ・ 本市が設定した「関係人口」に該当する方（※²）

< 支給額 >

単身移住：60万円支給

世帯移住：100万円支給（18歳未満の子がいる場合、100万円/人を加算）

【地方就職学生支援事業】

東京圏にある大学又は大学院を卒業・修了後、本市に移住し宮城県内の企業へ就職する場合、就職活動等に要した交通費及び移住に係る移転費の一部を補助

< 対象経費・支給額 >

交通費：県内企業への就職活動等に要した1回分の往復交通費【1/2補助、上限19,710円】

移転費：気仙沼市への移住に要した費用【10/10補助、上限81,500円】

移住定住促進住宅

本市への居住意思を持つ方を対象に、住宅探し等の準備期間として、公営住宅への入居を可能とする（最長1年）・賃料：10,000円～/月

空き家改修支援事業補助金

気仙沼市空き家バンク（※³）に登録された物件のリフォーム代等の経費の1/2を補助

・ 補助上限額：50万円（対象：住居又は店舗・事務所等として利用するための改修）

空き家取得補助金

気仙沼市空き家バンクに登録された物件の取得経費の1/2を補助

- ・ 補助対象者：移住者、二地域居住者等、市内在住の子育て世帯
- ・ 補助上限額：100万円

気仙沼市の移住・定住支援制度 (2/3)

検討

移住

定住

就業支援等

宮城県UIターン就職活動・キャリア形成活動支援事業費補助金 (県事業)

県外に在住し、県外にある大学等の学生又は卒業後3年以内の方が、県内で就職活動又はキャリア形成活動を行う際、交通費及び宿泊費の1/2を補助

・補助上限額：4万円（上限に達するまで申請可能）

保育士等確保対策事業

市内の民間幼児保育施設に保育士や幼稚園教諭として就職した方へ助成金を支給

・就職助成金：10万円

対象者：新規就業者や潜在保育士（幼児教育・保育分野から1年以上離職していた有資格者等）で、雇用契約が1年以上の方

・移住費用助成金：1人につき10万円

対象者：就職助成金対象者で、UIターンにより就職日前後1ヶ月以内に本市に住民登録した本人を含む世帯員

介護マンパワー確保対策事業

市内の介護サービス事業所又は障害福祉サービス事業所に就職した方へ助成金を支給

・就職助成金：有資格者10万円、無資格者5万円

対象者：新規就業者（UIターンによる就職、介護・福祉・医療分野以外からの転職、1年以上離職していた介護従事者等）で、雇用契約が1年以上の方

・移住費用助成金：1人あたり上限10万円（助成対象：賃借費用、引越費用等）

対象者：新規就業者で、UIターンにより就職日前後1ヶ月以内に本市に住民登録した本人を含む世帯員

就漁支援（TRITON気仙沼）

漁師になりたい方のサポート窓口を設置

・運営主体：一般社団法人 歓迎プロデュース

就農支援

新規就農者に対し、経営開始資金を交付

・1人あたり年間上限150万円（最長3年）



地域おこし協力隊

都市地域から人材を受け入れ、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら定住・定着を図る取組
(任期は最長3年間)

起業・事業者支援

気仙沼ビジネスサポートセンター（気仙沼ビズ）

市内で事業を行っている又は起業を検討している方のサポート拠点

・相談時間：1回60分（完全予約制）

・相談料：無料

気仙沼市創造的産業復興支援事業補助金

地域資源等の活用、社会課題・地域課題の解決などを伴う新たな事業展開をする事業者や起業家に対し、その費用の一部を補助

・新規事業展開枠：100万円～1,000万円（1/2補助）

・起業支援枠：50万円～200万円（1/2補助）

・女性起業支援枠：50万円～200万円（2/3補助）



リモートワークスペース

会員制シェアスペース

「□ship（スクエアシップ）」

Wi-Fi完備でフリードリンクや個室ワークブースもあり、リモートワークスペースとしても使用できるシェアスペース

（気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ内）

・年間利用料：1,000円

気仙沼市の移住・定住支援制度 (3/3)

定住

結婚・妊娠・出産・子育てサポート

結婚新生活支援補助金

対象期間内に婚姻された方で、夫婦ともに39歳以下・夫婦の合計所得500万円未満の世帯を対象に、最大60万円の住居費等を補助

不妊検査費・不妊治療費助成事業

不妊検査を受けた方に対し、検査費用の一部を助成
不妊治療（保険診療）を受けた方に対し、治療に要した自己負担額の全額を助成

妊婦健康診査・歯科健康診査

妊娠中の定期健康診査14回分（多胎の場合は6回追加）を助成
歯の健康診査1回無料

出産時交通費等助成事業

遠方の分娩取扱施設で出産する必要がある妊婦に対し、移動に要する交通費等の一部を助成

- ・交通費助成（往復）：移動に要した費用の8割を助成
- ・宿泊費助成：実費額から自己負担2,000円/泊を控除した額（上限あり）

妊婦のための支援給付事業

産前産後期間における経済的負担を軽減し、妊婦や胎児であるこどもの保健及び福祉の向上を目的として、妊婦支援給付金を2回支給

- ・妊婦1人につき5万円
- ・出生した子ども1人につき5万円

産婦健康診査事業

産後2週間と1か月の2回分の産婦健康診査料を助成
・助成上限額：5,000円

1ヵ月児健康診査事業

出生後1ヵ月前後に受ける健康診査料を助成
・助成上限額：3,300円



人口減少対策パッケージ

子育てにかかる5つの“ゼロ”を実現！

保育所・幼稚園・こども園の給食費「ゼロ」

学童保育の利用料「ゼロ」

小中学校の給食費「ゼロ」

第2子以降の保育料「ゼロ」

保育所待機児童「ゼロ」

誕生祝金

お子さん1人につき3万円分の商品券を贈呈

ファミリー・サポート・センター

地域で子育てを相互に助け合う仕組みで、お子さんの短時間預かり、保育所や習い事の送迎等のほか、出産後のお母さんへの育児援助を実施

- ・産後ママ応援事業：産後1年間は利用料を助成（上限2万円/月）
- ・ひとり親応援事業：小学6年生までの保護者の利用料を助成（上限2万円/月）

子ども医療費助成

お子さんが18歳に達した最初の3月末まで、医療費の一部負担金を全額助成（所得制限なし）

小学校入学祝金

第3子以降のお子さん1人につき3万円を支給

けせんぬま子育て情報サイト「ぽけっと」

子育て支援情報やイベント等の情報をアプリで発信

